

第131回愛知県農業祭献穀事業 播種祭 宮中へ献上するお米を育てます

JAあいち海部は4月18日（火）、弥富市内のJAあいち海部総合支援センターで第131回愛知県農業祭献穀事業の播種祭を執り行います。

献穀事業とは、地域内で「斎田」を決め、そこで収穫された米を宮中をはじめ伊勢神宮や明治神宮、熱田神宮に献上することで五穀豊穡を祈り、自然の恵みと勤労に感謝を示すものです。明治25年から続く伝統行事で、毎年県内のJAが持ち回りで事業を執り行っています。当JAが担当するのは平成5年以来30年ぶりです。

今回の献穀者は当JA組合長の平野和実が務め、「あいちのかおり」を献穀します。

昨年、JAあいち尾東で行われた
第130回献穀事業の様子↓



播種際



お田植祭

2月に行われた地鎮祭で玉串奉奠を行う
JAあいち海部組合長の平野和実↓



【献穀事業スケジュール】

2月13日(月)	地鎮祭	斎田となった土地の神を祀り、豊作や神事の無事を祈ります。
4月18日(火) 午前11時～	播種祭	一升枧に入ったお米の粃を斎田に播き、苗の成長と豊作を祈ります。
5月16日(火) 午前11時～	お田植祭	田植を模範的に演じ、稲の豊作を祈願します行事の中では「お田植えまつり」も行われ専用の衣装を着た田男・早乙女たちが田植えを行います。
10月6日(金) 午前11時～	刈穂祭	「刈穂の儀」にて成熟した稲の刈取りを行い、「脱穀の儀」で献納の無事を祈願します。
10月17日(火)	選別式	献納をするため、お米の割れや濁りがないか選別します。
10月～	新嘗祭献穀献納式	11月に執り行われる新嘗祭に向け、収穫した「あいちのかおり」一升を献納します。

【メディア対応について】

日時：4月18日（火） 10時30分～

場所：愛知県弥富市鍋平3丁目45-1（総合支援センター北側圃場）

<お問合せ先>取材にお越しいただける際には、事前にご一報ください

JAあいち海部企画部企画課（広報担当：藤原）TEL：0567-28-6760 FAX：0567-28-6655

E-mail：sougoukikaku@ja-aichiama.com HP：http://www.ja-aichiama.com/